

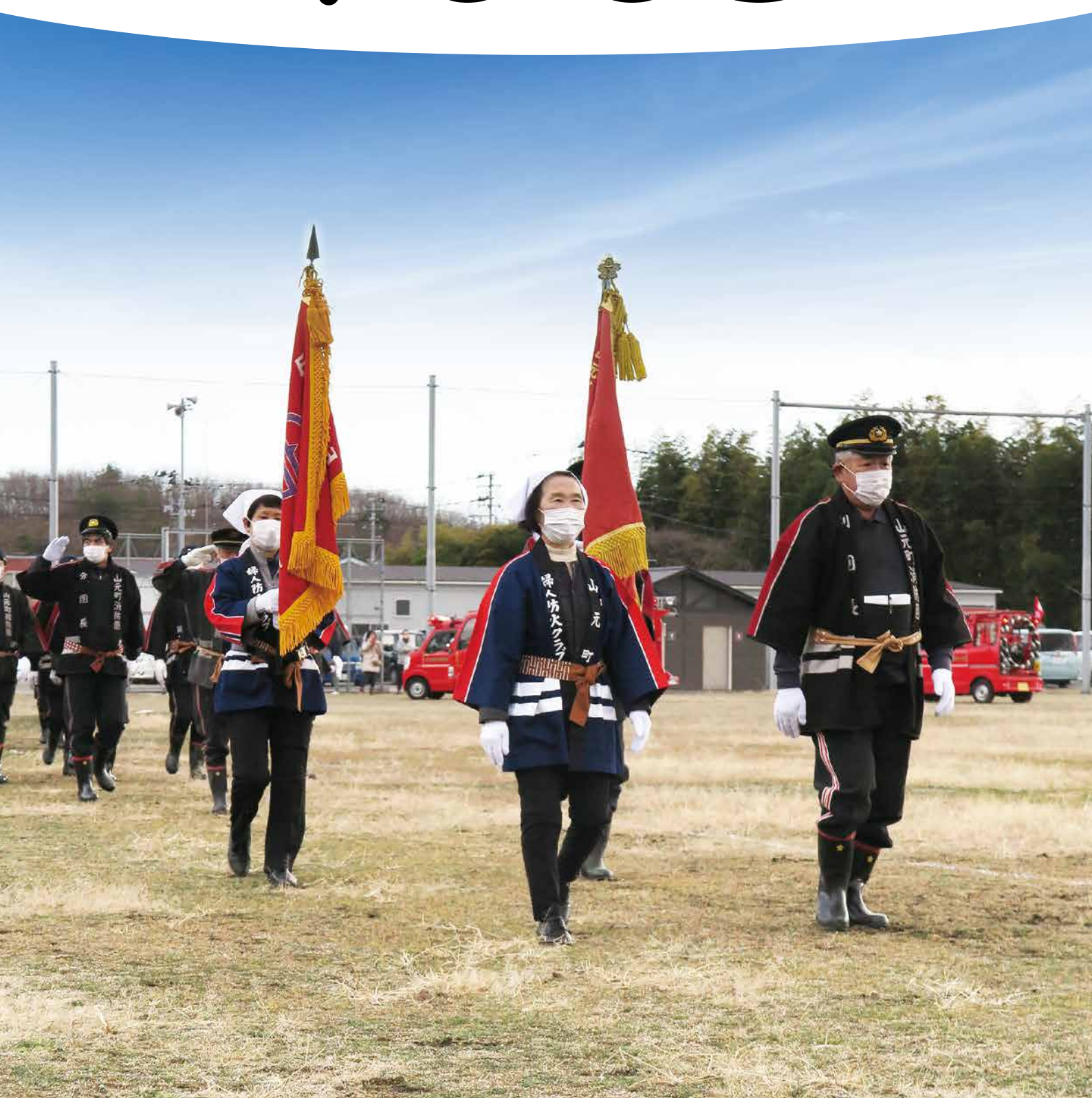
議会だより



やまもと

Vol.204

令和6年2月1日発行



令和6年消防出初式

第4回定例会

会期12月6日～13日

目次

- 定例会概要……………P2
- 請願（討論・採決）……………P4～6
- 一般質問（質問議員8人）……………P7～14

令和5年 第4回定例会

“物価高騰に対する支援を強化”

○定例会概要

第4回定例会は、12月6日から13日までの8日間の日程で開催されました。
 今回の会議は、町長提出議案22件（報告2件、条例4件、契約1件、補正予算追加議案を含め7件、同意8件）請願1件は、総務民生常任委員会に審査を付託し、その他の議案は原案通り可決しました。
 また、今後のまちづくりや町政運営について、8人の議員が一般質問を行いました。

○一般会計補正予算概要

人事院勧告、最低賃金改定に基づく人件費増額や物価高等対応重点支援地方創成特別交付金、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業等、様々な支援策に係る経費が計上されました。
 その他の歳出予算として、山下小学校児童クラブプレハブ設置経費、子育て支援策の一環として、小・中学校の12月から年度末までの学校給食費の完全無償化や水道料金の基本料金を2カ月間減免するための経費を措置し、合計で2億427万円の増額補正となりました。

○主な補正予算事業

- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 9,893万円（1世帯当たり7万円）
- ・水道基本料金減免事業 2,112万円（12月から2カ月間減免）
- ・子育て支援事業 703万円（小・中学校の12月から年度末までの学校給食費減免、完全無償化）

○契約【議案第43号】 ※「茶室」修復工事

名称	金額（税込）	落札率	相手方
令和5年度（債務）山元町指定文化財「大條家茶室」修復等工事請負契約	5,478万円	97.74%	（株）たくみ仙台営業所 〔仙台市〕



○農業委員会委員を新たに同意【同意第6号～13号】

任期：令和6年1月29日～令和9年1月28日

- | | |
|---------------|------------------|
| 阿部 賢一 氏（久保間区） | 岩佐 正 氏（町区） |
| 渡辺 成寿 氏（笠野区） | 星 健悦 氏（真庭区） |
| 遠藤 智 氏（仙台市） | 菊地 孝式 氏（つばめの杜東区） |
| 砂金 礼子 氏（大平区） | 阿部 幸治 氏（真庭区） |

○令和5年 第4回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第9号	専決処分の報告について（賠償額の決定及び和解）	報告
報告第10号	専決処分の報告について（賠償額の決定及び和解）	
議案第39号	山元町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決 （全会一致）
議案第40号	山元町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第41号	山元町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	
議案第42号	山元町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
議案第43号	令和5年度（債務）山元町指定文化財「大條家茶室」修復等工事請負契約の締結について【P2に記載】	
議案第44号	令和5年度山元町一般会計補正予算（第4号）【P2に記載】	
議案第45号	令和5年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第46号	令和5年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第47号	令和5年度山元町水道事業会計補正予算（第2号）	
議案第48号	令和5年度山元町下水道事業会計補正予算（第2号）	
同意第6号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて【P2に記載】	同意
同意第7号		
同意第8号		
同意第9号		
同意第10号		
同意第11号		
同意第12号		
同意第13号		
議案第49号	令和5年度山元町一般会計補正予算（第5号）【P2に記載】	可決 （全会一致）
議案第50号	令和5年度山元町水道事業会計補正予算（第3号）	
請願第1号	慰霊碑「大地の塔」敷地内へのトイレ設置に関する請願書（委員長報告）【P4～6に記載】	不採択 （賛成・反対同数のため議長裁決）

○請願・陳情の受理

陳情番号	件名	陳情者等の氏名	結果
陳情第4号	最低賃金の改善と中小企業の支援の拡充、格差のない全国一律最低賃金制度の確立を求める政府に対する意見書採択の陳情書の提出について	宮城県春闘共闘会議代表幹事 高橋 正行	配布
陳情第5号	年金制度における外国への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	行橋市市議会議員 小坪 慎也	配布



請願第1号


慰霊碑「大地の塔」敷地内へのトイレ設置に関する請願

令和5年12月1日に花釜区長から、東日本大震災慰霊碑「大地の塔」敷地内へのトイレ設置に関する請願書が議会に提出され、請願の審査は12月11日に総務民生常任委員会に付託されました。審査の結果、委員長から「採択すべきもの」と報告がありましたが、総務民生常任委員会の2人の委員から「少数意見の留保」*に関する報告が行われ、討論、採決の結果、賛成・反対同数となり、「現状維持の原則により、積極的には意思表示しない」との議

設置に関する請願書が議会に提出され、請願の審査は12月11日に総務民生常任委員会に付託されました。審査の結果、委員長から「採択すべきもの」と報告がありましたが、総務民生常任委員会の2人の委員から「少数意見の留保」*に関する報告が行われ、討論、採決の結果、賛成・反対同数となり、「現状維持の原則により、積極的には意思表示しない」との議

○請願受付日 令和5年12月1日
 ○請願提出者 花釜区長 渡邊 博孝
 ○紹介議員 伊藤 貞悦 高橋 眞理子 丸子 直樹

請願の概要
 「大地の塔」見学者（参拝者）及び整備された町道の「緑道散策者」への対策として、トイレ施設の設置を請願するもの。



○少数意見の報告
 提出議員：岩佐 秀一
 賛成議員：齋藤 俊夫

意見の要旨
 「大地の塔」敷地内へのトイレ設置に関する請願書が提出されたが、区の総会等を経て決定されたものではなく、区民の中からも疑問視する声もあることから、本請願は採択するべきではない。

*少数意見の留保：委員会の表決の結果、多数を得られず取り上げられない意見について、本会議において自ら少数意見として報告する権利を保持しておくこと。

少数意見に賛成

岩佐 哲也議員
高額事業費と高額借金頼りは問題

6月議会で指摘された問題点は少しも改善案が示されないままである。トイレの利用頻度、規模等。
 2700万円とトイレとしては高額、資金面では財源不足から2020万円もの借金頼り、等々他の選挙公約を後回しにしてまで、今すぐやらねばならない優先順位の高い事業なのか疑問。
 花釜区民から反対の意見もあり。加えて、3月11日にある人物物かなぜ俺が言ったのに造らないのかと圧力がかけられている。
 このような状況下では賛成できない。

大和 晴美議員
花釜地区の最優先課題か

大地の塔のトイレ設置に関しては、6月議会で根本的な議論をしてきたと思う。
 今回は区長の名前で提出された請願であるが、区の総意、つまり花釜地区の皆さんが一番望んでいることかという点で、多少疑問が残る。各区には様々な要望事項があり、この請願を採択した場合、今後の各区からの要望の仕方に影響を持つのではないかと考える。よって、この請願を採択すべきでないと考えられる。

竹内 和彦議員
この請願は区民の総意なのか疑問

この事業は、令和5年6月議会において、様々な疑問点が指摘され、議論した結果、修正された案件である。
 我が町の人口減少は、これからも続き、限られた財源の中で何を優先すべきなのかが問われている。各行政区からは、常に様々な要望があり、厳しい財政の中で、多額の町債を発行してまで、このトイレ建設すべきなのか。使用頻度から見ても、なぜ必要なのかが問われている。

採択することに賛成

質疑
 議員 委員会内において、「少数意見の留保」を確認した際に、意思表示がなされなかったと思うが、提出議員 意見としては述べており、制度として活用した。

議員 今会期中の審査としていたが、継続審査という方法もあったのではないかと。委員長 閉会中の調査にすべきであると意見を述べたが、一部の委員から強く反対された。

議員 委員会において「採択すべき」としているが、全員一致での決定だったのか。
 委員長 私が一方的に「採択すべき」とした。

遠藤 龍之議員
なぜ反対するのか

人が多く集まる公共施設として、「大地の塔」には当然あるべき施設であるトイレ設置を求める請願者の切なる願いに対し、この間の議論を通して、反対する理由が理解できない。
 今あげられている事業費の問題、公共施設にそんなにトイレは必要か、とする反対の理由は、予算措置の段階で解消できる問題である。

岩佐 孝子議員
委員会の結論を無視するのか

これは委員会付託案件事項であり、委員長報告のとおり「採択すべきもの」との観点から討論する。
 1 委員会で慎重審議したが、「少数意見の留保」（規則第75条）の権限を行使はしていない。
 2 この事業は本来であれば、震災復興事業として取り組むべきであった。
 3 地域住民（行政区）の総意、訪問者からの声をいかすべきである。
 4 議会、議員として公私混同すべきではない。
 以上、環境整備、地域福祉向上のため請願を認めるべきである。

伊藤 貞悦議員
公の施設にトイレは絶対必要

紹介議員として、トイレ設置の請願について常任委員会報告の通り採択すべきものと考え、賛成の立場から討論する。
 「大地の塔」は、大震災で亡くなられた方の慰霊を目的とした「町の震災慰霊」の施設であり、公の施設にトイレは絶対あるべきものと考えられる。
 慰霊に訪れる方からの「トイレがあれば」という声にこたえることは当然である。
 以上の点から「トイレ設置に関する請願書」については採択すべきものと考えられる。

丸子 直樹議員
大地の塔にトイレは必要

「大地の塔」への来訪者から「トイレが無く不便に感じる」という意見を聞く。
 また、区民から一定数の要望があり区長から提出されている請願でもある。
 2キロ圏内に他の公共トイレがあるから必要ないという意見もあるが、大地の塔は慰霊碑であり目的地であることから、そこにトイレは必要だと考える。
 よって本請願を採択することに賛成である。

請願第1号 採決表 (委員長報告のとおり採択することに賛成)
賛成反対同数のため議長裁決により否決

氏名	竹内 和彦	高橋 真理子	遠藤 龍之	丸子 直樹	大和 晴美	渡邊 千恵美	伊藤 貞悦	品堀 栄洋	岩佐 秀一	齋藤 俊夫	岩佐 孝子	岩佐 哲也	菊地 康彦
採決結果	●	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	●	-

賛成 ○ 反対 ● 議長 -

一般質問 我が町政を問う

一般質問大綱一覧

- 岩佐 秀一 議員 P7
 - ★1 東部地区土地利用計画について
- 岩佐 哲也 議員 P8
 - ★1 旧坂元中学校活用事業について
- 品堀 栄洋 議員 P9
 - ★1 通学路の整備について
 - ★2 町道等の安全対策について
- 齋藤 俊夫 議員 P10
 - ★1 政治姿勢と公約履行について
 - ★2 ハラスメントのない誇れるまちづくりについて
- 伊藤 貞悦 議員 P11
 - ★1 これからの「町づくり」について
 - 2 高齢者施策と福祉関連施策の具体的な対策について
 - ★3 感染リスクが高い方への季節性感染症（インフルエンザワクチン）予防接種の支援について
- 高橋 真理子 議員 P12
 - ★1 「住むならやっぱり山元町」のマイホーム取得支援等について
 - ★2 洪水や土砂災害時等における山間部の対策や森林の保全・整備等について
- 岩佐 孝子 議員 P13
 - ★1 「夢と希望の持てるまちづくりについて
- 遠藤 龍之 議員 P14
 - ★1 高齢者福祉事業の取り組みについて
 - 2 国保事業の取り組みについて
 - ★3 保育事業の取り組みについて

※スペースの都合上、質問項目の前に「★」が付いている内容のみ掲載しております。掲載項目以外の内容の詳細は、右のQRコードから録画映像をご覧ください。➡



○一般質問とは
町の行政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

東部地区土地利用計画は

町長 個々の用途に委ねる

問 産業ゾーンとして整備した、非農地の活用はどのように進んでいるのか。

答 事業の進捗に応じ、地権者の意向を確認したところ、自主的な利用を希望する地権者が多く、個々の用途に委ねることとした。

他方、地権者自ら利用しない土地、非農地の笠野地区及び花釜地区の2カ所は、集団利用地として、企業誘致するなど将来にわたる有効的な活用を検討

問 換地整備の済んだ、坂元駅北側の非農地は、草がぼうぼうと生え管理が不十分で、大変危険である。除草等はどこで行うのか。

答 換地処分が済んでおり、個人の財産になるので、個々の地権者で除草・管理することになる。

問 換地後の宅地や雑種地等の維持管理費や税負担は換地前とどう変わるのか。

答 東部地区農地整備

事業地区内の固定資産税は、震災の影響に鑑み平成23年度から課税減免を実施し、平成27年度からは町条例に基づき減免措置を講じている。

換地後の固定資産税については、現状調査などを経た後に決定するので、現時点で具体的に示すことは難しい状況にある。整除化が図られ利用環境が向上し、土地の価値は整備事業実施前に比べ上昇すると考えられる。震災前の地目や利用形態等により地価の増減が考えられ、一概には言えない。

問 換地後の税負担は、令和6年度から課税されるのか。

答 換地の登記がまだ終了していないので、

令和7年度から課税を予定している。

問 県道相馬巨理線周辺の耕作放棄地の有効活用は。

答 畑の未耕作地は約16ヘクタールあり、広報紙やホームページ等により広く耕作者を募ってきたところである。引き続き新規就農者の発掘や農地中間管理機構の活用、隣接の耕作者に耕作してもらうなど、一日も早い未耕作地の解消に向け鋭意努力していく。

問 仙台都市圏から1時間前後と交通インフラの良い、未耕作地を観光農園に活用する考えはないか。

答 観光農園も含めて、有効活用できるような場所があれば努力していく。



いわさ しゅういち 議員 岩佐 秀一

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



高く伸びた雑草

町の財政負担はどのくらいになるか

町長 財政支援は一切考えていない

問 旧坂元中学校校利用について、官民共同とあるが町の財政負担・支援はどの程度まで考えているのか。

答 民間事業者に施設及び敷地等を一体的に貸し付けるだけで、側面的に連携・協力はするが、資金面等の財政的支援は一切考えていない。

問 この事業に取り組むに至ったきっかけ及び公募に至るまでの経緯は。

答 民間事業者から数件利用の相談や提案が寄せられた。この機会をとらえ公募することにした。

問 6社の共同利用とのことだが、各社ごとの利用計画や収支計画は。

答 まちの新たな賑わい創出、子育て環境充実、等の多世代交流施設が目的で、スポーツ施設運営管理や住宅施工管理、土木・建設、ドローン業務、IT関連の6事業者で構成。1

階は飲食店、防災コインランドリー。2階は知育型屋内遊具、学童保育施設、3階は宿泊施設。

問 令和6年7月から翌年3月までで7548万円の合宿収入を見込んでいるようだが。

答 現在、基本協定締結に向け、事業計画や収支見通しを含め協議中であり、未確定で、今は答えられない。

問 経営の連帯責任については。

答 代表事業者、構成事業者が連帯して責任を負うことになっている。契約締結前に一事業体でも撤退の場合には

契約しない。

問 同じような他の自治体の成功事例や失敗事例等を参考にしたのか。

答 県内外の自治体の取り組みは調査研究した（具体的事例の説明はなし）。日本語学校誘致については調査を進めてきた。

問 日本語学校については一昨年から提案・提言してきたが未だに正式な回答はない。県知事も奨励し、寄宿舎改装工事費の一部助成や教員確保及び海外からの生徒募集等々、全面的に協力すると明言している。十分な検討をしたのか。

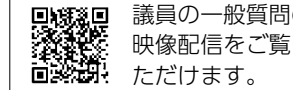
問 今後のスケジュールは。

答 町の提示条件クリアを確認し、年内中に基本協定を締結、年明けに住民説明会を実施する予定である。



これからも、ここは使えるの？

議員 岩佐 哲也



今後の通学路整備方針は

町長 利用者全体に配慮し進めたい

問 今年度を実施した通学路の整備箇所と、次年度以降の通学路整備についてどう進める方針であるか。

答 町道東街道線などの歩道整備が必要と判断される路線、道路ネットワーク構築に必要な路線や通学路等を中心に計画的に整備する。

また、推進会議における定期的な点検結果を踏まえた交通安全施設の整備を実施するなど、児童生徒を含め道

路利用者全体の安全に配慮する施設整備の推進に努める。

問 山寺生活センターから鷺足までの、坂道となっている歩道整備について、令和4年の議会定例会で山寺区から鷺足区に向けた道路整備の延伸を目指すとしているが、進捗状況はどうなっているか。

答 国の補助事業の活用などを検討し、今後、整備を進めていく。

きに、車が一時停止する割合は全国で平均3割である。

問 信号機のない横断歩道における歩行者優先対策として、トリックアートの横断歩道や、現在行っている注意喚起のカラー塗装や、文字の路面標示などの対策を当初予算を計上し、各地区の舗装工事も含

めて早急に講じる考えはないか。

答 現場を確認し、県や警察、公安委員会と相談しながらしっかりと、子どもたちの命を守るため、安全確保の努力をしたい。

問 通学路の対策として、合戦原を例にあげると、合戦原は大変道幅が狭く、※ハンプ設置工事や、ゾーン30の指定要望等々を行ってきているが、いまだに改善されていない。

問 国道6号の歩道照明整備に関し、町主導で具体的な箇所や対策を申し入れる考えはないか。

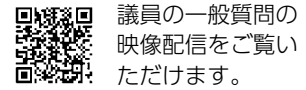
答 利用実態の把握に努め関係機関と連携を図りながら、強く要請をするように努める。

問 町道頭無西牛橋線における道路照明の設置については。

答 道路利用実態を確認し、必要性、緊急性を考慮した上で地元区長等と協議しながら設置に向け検討していく。



議員 品堀 栄洋



さらなる対策を！

国道の歩道照明整備を

町長 関係機関と協議しながら検討する

※ハンプ・交通安全対策のために、道路の路面に設けられた凸状の部分のこと。

パワハラ根絶に毅然と対処を!!

町長 容認せず厳正に対処する

問 優越的な関係にある「議員」から町職員への政党新聞の購読勧誘等や、町長の「後ろ盾」によるパワハラ行為で、職員や議員、町民が多大な迷惑を受けているが。

答 放任はしてない。その都度事案に対応した再発防止を行い、根絶に向け対処する。

問 某議員は、以前のような優越的な態度は影を潜めたようだが新聞の購読勧誘、集金で、役場執務室内に入入り

している。パワハラ行為と庁舎管理規則破りに必要な対応を。

答 個人情報保護等もあり、執務室内への出入りを控えるよう注意する。

問 一心同体の関係にある後ろ盾が、町長の目前を含めパワハラを繰り返している事実認識は。

答 知り得る限りは本人に注意喚起している。最近は大声を出すことはないはず。

問 町民は震えおのき、議員は発言をためらい、職員は戦々恐々、萎縮している。守るべきは町長の後ろ盾ではなく、町民の尊厳・人権、民主主義である。

答 議員時代から多少耳にしていたが、パワハラ行為は由々しき問題であり、毅然とした態度で臨む。

問 問題は、後ろ盾が「地区世話人」を兼ね

ており、役場に入出入りする機会が多いことにある。委嘱を解除すべき。

答 地区推薦の方の善し悪しは控える。

問 委嘱解除に毅然と対処せず、パワハラに歪められた町政運営に甘んじている。多くの町民を守る覚悟ができなければ、潔く身を引くべき。

答 申し訳ないが断る。



さいとう としお 議員 齋藤 俊夫

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



公約実現は健全な政治姿勢から

町長 内外との信頼関係構築に支障はない

問 速やかな公約実現は、内外から信用信頼される政治姿勢、行政の長としての健全なリーダーシップが肝要。町議時代を含めた姿勢、言動はいかがか。

答 これまでの姿勢等からして、内外から信用信頼される関係構築に支障はない。

問 町長選の最中に、党員でありながら自民党と根本的に対立する革新新党との「政策協定締結」を否定するなら、虚偽記事の掲載人物を名誉毀損で訴えるべき。

答 回答は控える。

問 大幅に完成が遅れた「県道山下停車場線」の用地買収協力姿勢の欠如、「夢いちごの郷」の業務引継を拒否した姿勢はいかがなものか。

答 県から道路整備の説明が不十分で、復興計画を作った町からの協力要請がなかった。

引継書については受け取ったが、一部方針が違ったので押印しなかった。

懇談会で町民の望む最重要課題は

町長 身近な生活環境の改善が多い!!

問 地区による意識の違いをどのように感じたか。

答 千差万別であると感じたが、改めて町の現状を見直し、今後の行政課題を整理する良い機会となった。

問 年齢・性別による意識の違いをどのように感じたか。

答 若い方の参加が少なかった。今後若層の意見をどのように吸い上げるかが一つの課題であると考えている。

問 全体を通じて最重

要課題をどのように捉えたか。

答 生活道路や排水施設の整備・公共交通の充実、空き地の管理等、身近な生活環境の改善に関する意見が多かった。

問 町内小中学校周辺の歩道や、送迎時の安全地帯確保に心配はないか。

答 歩道がない路線や狭い路線があることは十分認識している。

問 通学方法や送迎の実態調査について実施

しているか。

答 年度当初や入学時に家庭の環境調査を実施するが、実態把握をし、確認は必要と考えている。

問 教職員の通勤経路と駐車場、児童生徒の通学路や送迎等の配慮はされているのか。

答 送迎について中学校は、南側はスクール

バスの出入があるので北側の職員駐車場にと分けている。しかし、道路幅が狭く行き違いができるかといえれば十分ではないと承知している。

問 やはり拡幅・拡張する必要がある。それまでに早急な対策として時間帯の一方通行等考慮できないか。

答 道路整備については今後の課題であると考えているが、安全性を最優先に進めていく。



いとう ていすつ 議員 伊藤 貞悦

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



道路の拡幅を

インフルエンザ予防接種支援拡大は

町長 他市町村を参考に検討していく

問 乳幼児、小中学生、高齢者のインフルエンザワクチン予防接種費用を無償化する考えはないか。

答 予防接種法において、定期接種として位置づけられたものは、公費負担や接種奨励を実施している。65歳以上の高齢者が定期接種に該当するため、接種費用の一部を公費負担している。令和3年度から、子育て施策の一環として高校受験を控えた中学3年生と妊婦に対し、費用の一部を助成し、巨理郡内の医療機関で接種の場合は無償となっている。指摘のあった乳幼児から高齢者までの無償化については、県内他市町村の取り組みを参考に検討していく。

その他の質問

高齢者施策と福祉関連施策の具体的な対策について、公共交通計画を見直しているが、必要な各種サービス（バス）の先取りはできないか。

・社会福祉協議会への支援内容に不足はないか。

移住・定住は夢もって場所を選ぶ

町長 空き地対応未確認数76件と増大

問 移住・定住支援補助事業が、令和7年3月31日までとなっている。呼び込みが期待できる作田山団地や太陽ニュータウン等には、雑草等が繁茂した空き地や空き家等が見え、イメージダウンに繋がる。

答 空き地については全国的な法令や整備がまだ行われておらず、各自治体の対応になっているが苦慮している。

問 空き家等対策の進捗状況は。

答 所有者意向調査の結果等、年度内に空き家等対策計画をまとめる予定だ。

問 空き家等対策と空き地対策を併せた条例を制定する考えはないか。

答 空き家等の有効活用の推進等を見据え、条例の制定が必要と考えているが、空き地については先行事例を研究していく。

問 「空き家片づけ隊プロジェクト」の取り組みについては。

答 家財などを所有者と一緒に整理し、移住者向け賃貸物件等に活用する取り組みは、空き家対策と定住促進の相乗効果が期待される。本町も調査し研究していく。



たかはし まり 議員
高橋 真理子 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



綺麗な団地が・・・

森林の保全・整備は洪水災害減災に

町長 林業に対する視点は今後の課題だ

問 県が管理する治山ダムや砂防ダムについて、県とはどのような体制を取っているのか。

答 それぞれ42基と33基ある設備を、県では定期的に巡回しており、町は大雨時に流木や土砂が堆積した場合、県へ連絡している。毎年6月の土砂災害防止月間には、土砂災害警戒区域等の点検パトロールを県と共に実施している。

問 本来、森林整備促進のための森林環境譲与税は、整備基金として積み立てたままになっている。

答 森林の持つ多面的機能が十分発揮されるよう、森林の保全育成の推進に向け使途目的に合った、効果的な活用方法を探っていく。

問 「自伐型林業」に着目する自治体が増えていく。山林の整備や活用等を目的とするNPO法人や地域住民等と森林所有者を、町が繋ぐ取り組みをする考えはないか。

答 多様な担い手による地域活性化等も期待されるが、まず、森林所有者の同意を確認した上で対応を検討する。

問 スピード感をもってすべき。林業の担い手不足、町の賑わいづくり等にも関わる。

答 実施している海岸防災林等の再生同様、災害にも関わる森林づくりの橋渡し役に努めていく。



森を元気に・・・

夢と希望の持てるまちづくりを

町長 課題解決に向け鋭意努力する

問 震災からの復旧・復興事業は終盤を迎えている。各種事業の進捗状況や点検・評価について伺う。防犯対策のため、山下・坂元両駅付近の街灯・防犯灯設置計画は。

答 地区懇談会でも要望が出ている。設置計画はないが、出来ることから出来る範囲で対応する。

問 公共施設の付帯施設を含むと思われる、坂元町東公園への横断歩道整備の考えは。

答 おもだか館のトイレを使用する際、遠回りをする必要がある。公安委員会等と協議しながら、設置していく必要がある。

問 坂元町東公園周辺を地域の方々が早朝・夕方など散歩をしているが、トイレがない。おもだか館のトイレを利用できるのは、開館時間のみである。公園周辺にトイレ整備の考えは。

答 少子高齢化社会において、必要なもの

であり、今後の課題と捉える。

問 磯浜の網干し場に整備されたトイレは、冬期間閉鎖されている。町内外の方々の利便性を考え利用できるように検討すべきでは。

答 交流人口等を考え有効活用できるように協議していく。

問 コロナの5類移行後は、「震災遺構中浜小学校」―「大地の塔」への訪問者が増加している。

答 来訪者、地域住民がトイレ設置を要望している―「大地の塔」は、公共施設である。私は公共施設にトイレは必要だと思うが、町の考えは。

答 区長にお願いし、花釜交流センターを借用している状況も聞いていく。

している。整備を進めていきたい。

問 坂元地区災害公営住宅建設時に約束した、安全・安心を確保する避難道路四番作道の完成時期は。

答 停車場線の南側は今年度中に完成見込みである。北側部分は、使用予定の盛土材が不適合だったため、別の盛土材を求めたので早急に進めていく。

問 避難道路である上平浜原線は中浜から駒場原までなのか。

答 その通りの計画である。

問 県から示された浸水区域が広範囲である。町単独事業ではなく、国や県に強く要望をしていくべきでは。

答 最重要課題と認識しており、積極的に課

題解決に向け鋭意努力する。

問 議会は執行機関を監視する機関であり、

対立する機関ではない。誰もががらりと輝き希望の持てる町づくりをめざしたい。

対立する機関ではない。誰もががらりと輝き希望の持てる町づくりをめざしたい。

対立する機関ではない。誰もががらりと輝き希望の持てる町づくりをめざしたい。

対立する機関ではない。誰もががらりと輝き希望の持てる町づくりをめざしたい。



いわさ たかこ 議員
岩佐 孝子 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



「慰霊碑」を訪れる人々

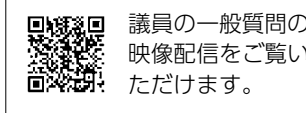
高齢者対策 「足の確保」の充実を

町長 移動手段確保の具体的対応を検討中

問 一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の増加が見込まれ、高齢者の暮らしを見守り、支える仕組みづくりが必要であると懸念されている。この間の特徴的な取り組み、実績、今後の対策は。



えんどう たつゆき 議員 遠藤 龍之



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

答 一人暮らしの65歳以上の世帯は、916世帯と、全世帯の約2割を占めており、高齢者の一人暮らし施策は大変重要、喫緊の課題であると認識。これまでの取り組みとして、緊急

問 通報システムの導入、サロン事業や見守り事業等、高齢者が安心して暮らせる体制の整備、さらなる充実を図るため、見守り機器の助成を始めている。

答 高齢者世帯の推移について、2000年時の一人暮らしは26世帯、5.1%、夫婦世帯は436世帯、8.6%、現時点では、一人暮らしで916世帯、19%、夫婦世帯772世帯、16%と急増しているが。

問 大きな問題と認識している。

答 移動手段の確保の具体的な対応は検討中。自宅と指定乗降場所の往復の利用等、デマンド型交通の利便性向上を中心に検討を進める。

保育所の待機児童対策は問題ないか

町長 対応が行き届いていなかった

問 保育所の待機児童が問題になっているが、これまでの対策の進捗状況は。

答 現時点でゼロ歳児の待機児童は4名。進捗状況は、つくし保育園の地域枠拡大、なないう保育園との連携強化、保育士不足の中での人材確保策の強化、山元町児童福祉施設情報交換会の開催等々、検討を重ねている。

問 待機児童の推移は。

答 年度途中で令和元年24人、2年11人、3年19人、4年13人、5年4人。

問 推移から見ると、これまでの対策が見えないが。

答 一人でもいれば大変と認識している。

問 根本原因は。

答 町の役割として、本当に安心して生み育てられる環境を、と考えているが、その対応が行き届いていない。

その他の質問

国保事業の取り組みについて

- ・物価高騰が続き生活が疲弊している昨今、国保税の引き下げを求めるが考えを伺う。
- ・応能応益割合の考え方は
- ・マイナ保険証の取り組みの現状は



問 待機児童対策として、保育所の建設を求めてきたが、それに比べてこなかったこと、大きな要因があることを十分受け止め、対策に当たることが強く求める。

議員の会議等出欠状況

令和5年11月13日～12月31日 出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：-

月	日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			竹内和彦	高橋眞理子	遠藤龍之	丸子直樹	大和晴美	渡邊千恵美	伊藤貞悦	品堀栄洋	岩佐秀一	齋藤俊夫	岩佐孝子	岩佐哲也	菊地康彦
11	13	第3回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	広報・広聴常任委員会	-	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	○	-
	17	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	巨理地方町議会議長会 臨時総会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
	24	広報・広聴常任委員会	-	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	○	-
	27	議会広報研究会	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
12	1	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	議会運営委員会	-	-	○	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○
	第4回議会定例会（12/6・8・11・13）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	総務民生常任委員会	-	-	○	-	-	○	-	○	○	○	○	-	-
		産建教育常任委員会	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○	-
	13	広報・広聴常任委員会	-	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	○	-
	18	議会運営委員会	-	-	○	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○
	19	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	仙南・巨理地方町議会議長会 議長会議	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
26	総務民生常任委員会	-	-	○	-	-	○	-	○	○	○	○	-	-	

議長交際費

区分	10月		11月		12月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
会費	-		-		5,000	仙南・巨理地方町議会情報交換会
慶弔	5,000	元山元町代表監査委員弔慰金	21,500	山元町議員実母葬儀 弔花、弔慰金	-	
その他	3,880	視察対応茶菓子	926	視察対応茶	-	
合計	8,880		22,426		5,000	

すきです
Yamamoto



「こんにちは！ポラリスです」

ポラリスは2015年に設立し、東日本大震災で大きな被害を受けたこの町で、「障害のある人もない人も、地域の中で素敵に生き、はたらく」をテーマに、障害者支援と地域づくりに取り組んでいます。

就労継続支援B型ポラリスでは、地域全体をフィールドとして「はたらく・楽しむ・学ぶ」をテーマに、主に町や企業から委託された清掃作業や、アトリエでのアート活動、知りたいことを楽しく学び合う場作りをしています。

また2023年4月に、宮城病院向かいにオープンした地域活動支援センター「ひろばポラリス」では、ゆったりと過ごせるフリースペース

特定非営利活動法人ポラリス 社会福祉士 引地 奈美

や、料理やアート、音楽などの各種ワークショップの場を設け、主に自宅療養中の方が地域に一步踏み出し、つながることのできる場となるように活動しています。

そして障害のある人とない人が活動を通して同じ時間を共有することで、町で出会った時には声を掛け合い、何かの際にはお互いに助け合える、そんな、しなやかで優しい山元町となることを目指して、今後も活動を続けていきます。引き続き、地域の皆さんとも一緒に活動していけますように、これからもよろしくお願いたします！

◆ ◆ ◆ お知らせ ◆ ◆ ◆

令和6年 第1回山元町議会定例会 (予定)

会期：2月27日(火)～3月18日(月)
開会：午前10時
本会議：2月27日・29日・3月4日・6日・18日
(一般質問：2月29日・3月4日)

議会のホームページをご覧ください

山元町議会

検索



編集デスク

この度は新体制でのスタートをきり、新たな年を迎えました。新年早々、最大震度7の能登半島地震があり被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

昨年は、気候変動による猛暑や、近年、各地で頻発化している豪雨災害があり、そして、今なお続く物価高騰等厳しい現状が続いています。

これからも議会の役割、議員の職責を自覚し、町民の方が安心して暮らせる町づくりを目指します。

新しいメンバーで「分かる」議会だよりをお届けするよう努力して参ります。今後ともよろしくお願いたします。

(副委員長 高橋真理子)

委員長 岩佐 秀一
副委員長 高橋 真理子
委員 丸高 眞理子
委員 品堀 直樹
委員 岩佐 哲也

議会広報・広報常任委員会